



## 秩父市コミュニティ・スクールだより

「地域とともにある学校」を目指して

No.10

### 地域学校協働活動について

これまでも、この紙面を通じて何回か取り上げてきましたが、これからの地域と学校の在り方を考える上で、「地域学校協働活動」が1つのキーワードになります。秩父市ではまだ具体的な取組は行っていませんが、今後全国的にこの活動が普及していくことが予想されます。そこで今号では、「地域学校協働活動」についてまとめてみました。

#### 地域学校協働活動

(文部科学省のホームページより)

地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住人の参画を得て、地域全体で子供たちの成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協議して行う様々な活動

### 「地域連携活動」から「地域学校協働活動」へ

「地域学校協働活動」は従来の「地域連携活動」をさらに発展させ、社会教育との連携まで視野に入れた取組です。

また、地域学校協働活動を推進するための体制が、「地域学校協働本部」です。

「連携」から、「協働」への変更には、地域と学校のパートナーシップに基づく「双方向の連携・協力」、そして「個別」の活動から「総合化・ネットワーク化」へと発展させていくことへの期待が込められています。

「地域学校協働活動」を推進するために、次の3つの要素が重要です。

- ① コーディネート機能（活動に携わる団体間の調整を行うための仕組みや人材）
- ② 多様な活動（より多くの地域住民等の参画による多様な地域学校協働活動の実施）
- ③ 継続的な活動（地域学校協働活動の継続的・安定的実施）

この「たより」は秩父市の皆様に、「コミュニティ・スクール」を知ってもらうためのものです。

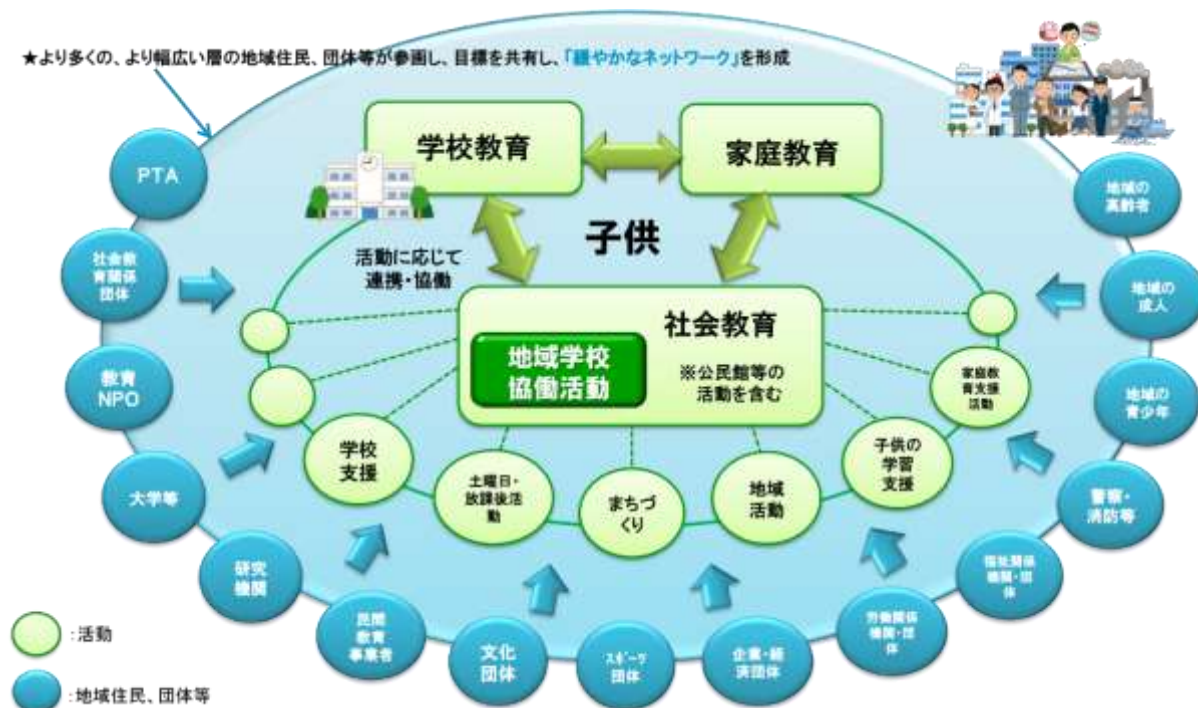
将来的には、「学校運営協議会」と「地域学校協働本部」が協力して、地域学校協働活動を推進する体制に移行していくことが期待されています。

その時は、これまで多くの実績を上げてきた「学校応援団」等を中核とした地域連携活動を包括して、地域学校協働活動として発展していくことになるでしょう。

## 地域全体で未来を担う子供たちの成長を支える仕組み（活動概念図）

◎次代を担う子供に対して、どのような資質を育むのかという目標を共有し、地域社会と学校が協働。

◎従来の地縁団体だけではない、新しいつながりによる地域の教育力の向上・充実  
は、地域課題解決等に向けた連携・協働につながり、持続可能な地域社会の源となる。



(文部科学省のホームページより)

秩父市教育委員会学校教育課

電話 0494-25-5228 ホームページ <http://www.city.chichibu.lg.jp/1900.html>